

ベルギー留学日記 ②

読者のみなさんこんにちは！神戸大学からベルギー、ゲント大学に留学中の岸本です。先月の記事では、日本とベルギーの大学の違いなどについて書いたのですが、いかがでしたか？今月はもう少し詳しく、僕自身の生活について書いて、留学生がどんな日常を送ってるのかなど知ってもらおうと思います。

では、早速ですが、まず、ベルギーに来てからの僕の生活は、日本にいた時と比べて圧倒的に時間に余裕があります(笑)。日本にいたころは大学の授業自体は忙しくないので、それでも毎日2つから3つぐらいの授業を受けていました。それが、ゲント大学では1つの授業当たりの単位数が日本よりも多いので、授業の難易度や課題の量では、神戸大学よりも大変ですが、受けている数が少ないのでかなり時間に余裕ができます。また、アルバイトをしていないこともあって自分の時間が多く取れることもあると思います。日本では週3日ほど、1回、3時間から6時間ほどアルバイトをしていたので、それがなくなるだけでもかなり時間が空きました。それでも、日本では嫌だったアルバイトも半年以上してないとなんかやりたくなくなってしまうことには、自分でもびっくりしました(笑)。

それでは、その余った時間で何をしているのかということなんですけど、平日はやっぱり勉強が中心になって合間に料理や家事をして、夜に友だちと飲みに行くことが多い生活を送っています。僕は、ほんとに料理ができませんので、寮の地下にある大学の学食をよく利用するのですが、学食は絶対に日本の方が美味しいです！！メニュー数も少なく、たまにとんでもなく不味い付け合わせの野菜がついてきたりするので、それだけは勘弁してほしいです(笑)。

右の写真はある日のランチです。この日は付け合わせのブロッコリーとカリフラワーに白身魚フライ、フライドポテトで当たりの日でした。1食だいたい4ユーロ程なので外食に比べると安く済みます。



また、夜飲みに行くときはバーに行くことが多いんですけど、日本だと居酒屋でご飯を食べながら飲むのに対して、ベルギーだとレストランでの外食は高いため、お酒だけしか頼まないのが、意外と安くすむことが多いです。ただ、お酒に強いヨーロッパの学生と同じペースで飲んでいたらすぐに酔ってしまって、次の日はだいたい二日酔いになってしまいます(笑)。

右の写真のビールは、ゲントで有名な1リットルのグラスでビールを提供してくれるDulle Grietという店のものです。お店でこのビールを頼むと、飲み逃げ防止のためか店員に靴を脱いで預け、ビールを飲み終えて空になったグラスと交換で靴を返してもらいます。



続いて、休日はどんな感じなのかということなんですけど、そもそも日曜日のお店も何もかもしまっているのが家でゆっくりし、散歩したりしていることが多いです。ベルギーに来たばかりのころは、日曜日はほんとにどのお店も空いてないことにびっくりして、不便だな～と思いつつ過ごしていました(笑)。なので、土曜日はだいたい外出するようにして、過ごしています。ゲントはブリュッセル、ブルージュ、アントワープとベルギー内の観光地に割とすぐ行けるところにあるので、その点とても便利です。僕はアントワープの美術館と服屋さんが好きなので、ほとんど毎月遊びに行っています。また、週末にはベルギー人の学生はみんな家に帰ってしまい、大学の周りには留学生しかいないのでとても静かになるんですけど、寮ではだいたいパーティーが開かれて、別の寮に住んでいる学生も一緒になって、よく飲んでます。自分が参加しているときは楽しいんですけど、寝たい日には夜中までキッチンで騒がれるのでほんとに地獄です(笑)。

そして、ゲント大学にはクリスマスとイースターに2週間の、前期のテスト終了後に1週間の休み期間があるのですが、その期間にはヨーロッパ内の旅行に行ってきた。日本からだと往復の飛行機代だけでもかなり高いのに比べヨーロッパ内からだと、夜行バスを使って、行き先の友だちの家に泊めてもらって、交通費と宿代を節約してかなりお得に旅行できているので、ベルギーに留学してよかったと思っています(笑)。ただ、一度、ドイツのミュンヘンまでバスを使って行った時には移動時間が17時間かかり、それだけじゃなかったです。僕はそこまでたくさん旅行している方ではないのですが、友だちの中には半年で20か国近く旅行してる友だちもいて、ヨーロッパのありがたみを感じています。ということで、今回は留学生の日常生活について書いてきました。最後まで読んでくださった方、ありがとうございます。

ゲント大学、経済・経営学部 岸本雅史